

びとう和広後援会ニュース

2007.4.27

第14号

発行責任者
長谷川満敏

安心と元気の三田めざして 頑張ります！



さとのね

いよいよ7月に開館となる郷の音ホール 4/9

新緑の候、後援会の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様の力強いご支援・ご協力に改めて御礼申し上げます。

今年は統一地方選挙の県議会選、三田市長選、参議院選と選挙の年です。まず、4月の選挙では、皆様の力強いご支援により、「しばの照久」県議会議員がトップで4選を果たしました。兵庫県下でも広がる格差の中、生活者や勤労者の視点で政治をただして欲しいとの皆様の声と考えています。

三田市の3月議会は、一年の締めであり、新年度予算を決定する議会として特に重要な議会ですが、今回は様子が違っていました。岡田市長が2月の市政方針の際、7月の市長選への不出馬と、新年度予算を骨格予算として、事前に議会承認されている削減案のみを織り込み、それ以外の新規案件は新市長にゆだねる、と発表されたからです。新年早々に、行財政断行プランとして、市の職員給与や手当ての削減も織り込んだ費用削減提案がされた直後だけに、緊迫した財政をどう方針付けするのか、迷走した議会でした。結局、今年度の各補正予算や条例も認定され、新年度予算は要望（幼児医療補助の拡大）をつけて認定されました。

そんな中、後援会の皆様が待望の文化センター「郷の音ホール」が6/2竣工式・記念コンサート、7/1に開館・柿落とし公演が開催され、文化の薫る街として一步成熟できます。60億の投資を活かして行けるよう、周辺との連携も併せて、皆様と一緒に活用を進めてまいります。

後援会行事では、4/24に総会が開催され、昨年度の活動報告と新年度の体制・方針・行事計画が確認されました。行事は昨年度と同様ですが、よりきめ細かく進めてまいりますので、多くの方にご参加いただければと考えています。これからも、皆様のお宅訪問や、地域ごと市政報告会を開催する予定です。皆様の身近な問題やいろいろなご意見・ご要望をお聞かせ下さい。厳しい財政の折、選択と集中で、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力の元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。



かずひろ
三田市議会議員 びとう 和広

活動報告

1～4月の活動

委員会

生活環境常任委員会:びとう和広は副委員長として積極的に問題提起しています。

1/9:環境基本計画の審議

1/18:行財政改革(委員会所管部)の審議

1/30:伊丹市(廃食油のディーゼル燃料化)視察

2/21:市民病院状況報告(医師/看護師不足)

3/8:水道/下水道/市民病院事業会計補正予算

3/29:市民病院状況報告(医師/看護師対策)

総務財政常任委員会

3/7:補正予算・文化振興基金条例・副市長定数

・組織改正/事務管理・職員給与/退職金など

福祉文教常任委員会

3/7:国民保険/介護保険特別会計補正予算、

・市民福祉金条例の改正など

経済建設常任委員会

3/8:三田駅前地区市街地特別会計補正予算

・都市公園条例の改正など

健康福祉審議会

2/28:障害者自立支援法の施行に伴う第3次障害福祉基本計画策定(意見集約)

3/20:第3次障害福祉基本計画確認(答申)

議会のあり方委員会

党派・会派に関係なく今の議会の問題を論じ合う委員会として、休会していたものを発足し直した。びとう和広は委員として、今までの議会運用で形式的な答弁や資料の作り方など時間や資源の無駄を改善できる機会と思っています。

1/23:発足(活動:要求項目を整理し議長に答申)

2/15:趣旨説明、期間:次期改選までに集約を図る

2/21:課題{a:本会議(土日/夕方議会、質問の一问一答方式、質疑のネット配信) b:常任委員会(請願の趣旨説明) c:決算/予算特別委員会(持ち時間制) d:議会運営(政務調査費、議員のIT環境、など)}

4/5:常任委員会/決算/予算特別委員会のあり方

行事出席

2/2:連合三田10周年記念式典

2/23:連合三田定期大会 出席

3/4:耳の日のつどい 出席

3/11:地区役員引継会 出席

尚、地域の小学校・中学校の卒業式/入学式や幼稚園の卒園式に 出席

後援会行事

1/26:三菱電機(三田)構内市政報告会 開催

4/24:第3回びとう和広後援会総会 開催

民主党関連行事

2/11:統一選挙 民主党街宣 参加

3/30 告示 4/8投票の県議会選挙において

民主党「しばの照久」県議の4選に全力応援



2/7

船橋駅前商業棟内の市出先窓口、大きな長円形のカウンターの窓口業務は全部ここで対応可能(三田駅前のまちづくり協働センター活性の参考に視察しました)



2/22

川西市矢問の市民農園地(工事中)を視察しました。三田市でもニュータウンの近くに市民農園の要望が多いです。



4/6

県議会選挙。投票日直前の福祉保健センターの個人演説会で、事務局長として状況報告と最後のお願いを致しました。



4/10

三田小学校の入学式。見守り隊の紹介の後、防犯協会から新入生に、防犯ブザーがプレゼントされました。



4/18

総合文化センター「郷の音ホール」の事前視察。大ホールは舞台が広く、装置充実で企画が楽しみです。

議会報告

今回は、2月に、岡田市長より7月改選に不出馬の表明があり、平成19年度予算は骨格予算（新規案件は凍結）として審議されました。また、安全・安心の大要素である市民病院の問題もあり、あわせて状況を報告します。

平成19年年始からの経緯

一昨年来の三田駅前再開発の諸問題に対し、対応不十分と指摘され、さらに昨年度決算不認定を受けて、新年度予算の組み方が注目されていた。

1月早々の行財政改革断行プランの変更発表で、国の人事院勧告の市職員給与4.8%削減とは別に、部/課/係の各長級に5/4/3%の給与削減などを盛り込み、市長も行財政改革に強い意志を見せていたが、市の職員組合との交渉難航もあり、予算への織り込みが間に合わなくなった。

2月、市政方針演説の際、岡田市長より7月市長選不出馬表明があり、新年度予算も骨格予算となった。

骨格予算とは言え、財政難ゆえ、以前からの削減項目は実行され、新規事業が新市長に委ねられた。

市議会として、骨格予算をどう審議し、何を要望とするのが課題となった。

3月定例議会（代表質問）3/5～3/6

概要

市長の勇退表明を受け、市長8年間の総括や残りの任期の課題・残すべき筋道の確認をはじめ、雇用政策、人口減少と若者の定住・子育て支援、市民病院の問題などが論議された。

平成19年度予算のポイント

財政見直し

「三位一体改革」により、市税は増加しますが、国からの地方交付税・譲与税などが削減され、合計で一般財源は減少となる。市民生活に欠かせない経費や維持・管理費は増加となる。そのため、財政調整基金（普通預金のようなもの）を7億4千万円取り崩して歳入不足を補う。

骨格予算の概要

骨格予算とは、市長選などで新市長の方針を活かすため、政策的な経費を除いた必要最小限の経費で組まれた予算のことで、今回は骨格予算にすることにより約1億3千万円の新規事業・拡充事業を凍結する。一般会計338億円（対前年度比18.9%減）、総予算745億4千万円（対前年度比4.4%減）。

平成19年度予算特別委員会 3/14～3/16

予算特別委員会は、新年度の予算について、審議する委員会で、三田市では議員24人のうち1/3の8人が委員となり、一人2時間の持ち時間で3日間の集中審議を行なう。結果として、委員会の意見（乳幼児医療費助成の対象年齢拡大を要望する）を付けての認定となり、本会議でも認定された。

市民病院の状況

問題点として、赤字経営 事務局と医局との不連携 医師不足 看護師不足の4点がある。

赤字経営

例年5億数千万円を市より補っている。行革で緊縮財政の中、問題指摘されているが、近隣市の同規模病院でも同程度の状況であり、むしろ市の中核医療設備として、また最先端医療としての市民病院の役割から、市としてどうするかが課題である。病棟の閉鎖による赤字2億のように体質強化や購買体制の見直しや選択と集中による費用削減を進めるべきと考える。

事務局と医局との不連携

市長の市政方針では、近隣の病院との連携により、救急医療や小児医療を進めていくとの話の直後、医師不足・看護師不足、そして西4階病棟の閉鎖と問題点の報告があった。一般質問で医療ミスや内部の人事問題まで取り上げる議員もあり、市民病院の経営含め、新聞紙上に掲載された。市民としてなくてはならない病院としてどう育てるのか、落ち着いた対応が必要と考える。

医師不足

国の研修医制度の変更に伴う全国的医師不足と、もともと関西で弱い部分との両方が形になった。具体的には腎臓内科・小児科・放射線科の医師が減となり、対応が必要になった。近隣病院との連携で2年間対応すれば修復できる。

看護師不足

三田市の位置関係として都市部に転職しやすい環境が、救急医療充実のため夜勤を含む勤務形態に負担を感じる人材の流出を止められない。看護学校とのパイプも弱く、常時臨時やパートで対応している実態が悪循環していると考えられる。

びとう和広は、この問題こそ、将来の三田の安心のために投資をするべきと考えています。やはり「医は人なり」です。看護部の増強と看護学校との強いパイプにより、固定の人材を確保し、多様な勤務体制を構築することが不可欠だからです。

表：三田市民病院の略歴

昭和24年	12月	三田町立診療所として発足	(病床数8床)
昭和25年	12月	町立三田病院となる	(病床数20床)
昭和28年	2月	病床数 増設	(病床数25床)
昭和33年	7月	三田市民病院と改称（市政施行）	
昭和39年	5月	第1期工事完成（外科）	(病床数51床)
昭和41年	8月	第2期工事完成（増築）	
昭和46年	6月	第3期工事完成（増築）	(病床数73床)
昭和59年	9月	脳神経外科新設	
昭和60年	8月	皮膚科新設(専門外来)	
昭和61年	1月	小児科新設(常勤医による毎日診療開始)	
平成7年	5月	新市民病院オープン 13診療科	(病床数250床)
平成7年	11月	日帰り人間ドッグ開始	
平成8年	4月	病床数 増設	(病床数300床)
平成10年	7月	消化器・循環器科新設 15診療科	
平成15年	4月	臨床病理科新設	
平成16年	10月	脳神経外科 脳卒中センター開設(24時間対応)	
平成18年	7月	形成外科新設	
平成19年	4月	西4階病棟閉鎖	(病床数252床)

今年度一年の予定

4月24日の後援会総会にて、今年度の計画が決定しました。下表が市と後援会の一年間の予定です。

月 日	予 定 行 事
4月 8日	県議会選挙投票日
24日	第3回びとう和広後援会総会
28日	第78回三田地区メーデー
5月 25日	第290回6月定例議会(6月15日まで) 6月7日びとう和広が代表質問
6月	びとう和広地域市政報告会 (学園、藍/本庄、つつじが丘)
7月 1日	総合文化センター開館
未定	三菱電機(三田)構内市政報告会
22日	参議院選挙・市長選挙・市議補選
27日	三菱電機(三田)夏祭りに協賛
8月	三田まつり 後援会ビアパーティ
9月	第291回9月定例議会(約3週間)
10月	びとう和広地域市政報告会 (広野、志手原/小野/高平、松が丘) 市民運動会 第292回10月臨時議会 (役員選出)(1日間)
11月	後援会ボウリング大会 H18年度決算特別委員会(3日間)
12月	第293回12月定例議会(約3週間) マスターズマラソン
'08年1月	三菱電機(三田)構内市政報告会
'08年2月	第294回3月定例議会(約5週間)
'08年3月	H20年度予算特別委員会(3日間)

後援会行事に、多くの方にご参加頂き、皆様のお考えや思いをお聞かせ下さい。

今年選挙の年

4月8日投票の統一地方選挙(県議会選挙)では、皆様のご支援により、民主党:しばの照久候補が13,155票でトップ当選となりました。びとう和広は総合選挙対策委員会事務局長として、支援市議会議員として、全力で闘いました。ご支援・ご協力ありがとうございました。



7月の参議院選では弱者負担の格差社会に「No!」の意思表示として、民主党候補をご支援下さい。



わかばやし ひでき
若林 秀樹(52歳)
参議院比例区(1期)
電機連合(ヤマハ)出身。
<夢と希望を語る国、
「希望立国ニッポン」
を、目指します>



つじ やすひろ
辻 泰弘(51歳)
参議院兵庫選挙区(1期)
民主党兵庫県連会長。
厚生労働委員会委員
<政治とは人間の幸せの
追求!温かい心が大切>

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議員に送り出して頂いて2年半、未熟ながら精一杯頑張っていると感じております。

4月24日に後援会総会を開催し、昨年度の活動を振り返るとともに、新年度に向けた体制・方針・行事計画を確認していただきました。いろいろな行事を通して、後援会の皆様にも『びとう和広』と交流していただき、活動を知っていただくとともに、直接皆様の声を伝えていただければと存じます。

『びとう和広』は、皆様の声をお聞きし、何事にも一生懸命精進するとの決意で活動を進めて参ります。倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長 : 長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitou-kazuhiro.com>